

平成 27 年度 第 2 回広報・広聴委員会会議報告

日 時 平成 27 年 8 月 6 日 (木) 13:30～17:00
場 所 京都大学大学文書館
出席者 相京、川上、坂口、高木、深井
藤吉、柳沢 (事務局)
(欠席) 辻岡委員長

○協議・報告

(1) 協 議

a 秋田大会の概要について

・大会・研修委員会から提供された大会のスケジュールを確認した。

b 会報第 98 号の進捗状況について

・6月中旬に各執筆者へ原稿依頼済み。8月中旬原稿締切、9月末日刊行予定。
・加藤国立公文書館長に依頼した『公文書館機能ガイドブック』についての書評的コメントは、『ガイドブック』と同様により広く読んでもらえるよう、全史料協 web サイトへの掲載を承諾いただけるよう、調整する。

c 会誌『記録と史料』第 26 号の構成について

○特集テーマ「戦後 70 年 アーカイブズの取組み」(仮)

特集テーマとしては、戦後 70 年をふり返るうえでアーカイブズでこそ可能な複数の視点を提示することを意図して議論した。掲載順は要検討。

・まず、展示やイベント、資料集の刊行などで特徴的な取組みを行っているアーカイブズ機関等による論稿を 3 本ほど依頼する。

とくに「昭和 20 年 -戦後 70 年の原点-」展示や SNS を通して積極的な動きがみられる国立公文書館、複数の大学アーカイブズが協同する取組みとして「学生たちの戦前・戦中・戦後」を実現した全国大学史資料協議会東日本部会、市民の戦争体験を生活にもっとも近いところで記録している自治会文書の展示と資料集刊行を行う寒川文書館の取組み等に対して原稿執筆を働きかける。

・アウトリーチのテーマとして戦争関連記録を取りあげるというのではなく、アーカイブズの事業全体として取り組んできた実績をもつ沖縄県公文書館から、その蓄積を概観するような論稿を寄せてもらえないか、交渉する。

・阪神・淡路大震災という戦後の大規模災害を契機に、災害の経験と教訓をいかに伝えるかはアーカイブズの課題としても明確になってきた。深井委員から、磁気媒体はもちろん、救援物資の缶詰等やプラスチック製の使い捨て食器、発砲スチロール製の避難所の看板など、劣化のおそれがある災害関連資料をより多く扱っている「人と防災未来センター」の実践と課題をまとめてみたいとの提案があった。

・戦中・戦後の紙の劣悪さは、この時期の資料の代替化を不可避にしている。戦後にアーカイブズが負うことになったこうした記録の媒体・材料・記録方法の保存利用上の問題点について概観する論稿を小島浩之氏(東京大学経済学部資料室)に依頼する(内諾済)。

○論 考

- ・自治体図書館において学芸員が担う資料保存・活用活動の事例について、検討中。

○世界の窓

- ・福岡で10月に開催される第12回 EASTICA について、総会・セミナー報告の参加記を副会長に内諾済。
- ・イタリア留学中のイタリア史研究者からみたアーキビストのようすを身辺雑記風にして書いてもらう。

○ネットワーク

- ・福島県双葉町と共同で東日本大震災の関連資料の保全及び調査研究に取り組み、その成果についてホームページ開設（筑波大学図書館情報メディア系）、武蔵野市、高松市の開館、別府大学と中津市による市民向けアーカイブズ講座、北海道立文書館30周年記念の取組み等について、分担して原稿依頼する。

○書評と紹介

- ・11冊の候補のなかから、目次等内容を検討し、4本5冊の著書について担当委員を決め、書評依頼をすることとした。

○資料ファイル

- ・調査・研究委員会の動向をみながら、調査・研究事業として取りあげられる学校アーカイブズ関連の現状把握・調査については、次号での掲載を検討する。

○その他

- ・機関会員の刊行物情報については、従来は9月の会報発送時に依頼文を同封していたが、今年度はメール記載のある機関会員には、入力用の Excel ファイルを添付してメールで依頼する。
- ・広報・広聴委員会では、『記録と史料』バックナンバー掲載論文等について、来年度にむけて pdf 化を進め、著作者の承諾が得られたものから web 公開する方向で作業をすすめていることを広報する。

◎各委員が分担した原稿依頼・調整の結果を第26号構成の Excel ファイルに反映させ、変更部分をマーキングして事務局（柳沢）まで送付する。

9月中旬原稿依頼を発送予定。

委員相互の状況報告には、委員会メーリングリストを活用する。

(2) 報 告

a 平成27年度第1回役員会について

- ・概要は、web 公開されている会議報告を配付。会誌・会報企画検討のなかで参照した。

b 『記録と史料』等刊行物の pdf 作業について

- ・事務局が進めている『記録と史料』の pdf 化の進捗状況について報告。

○その他

a 次回開催場所と日時 11月の全国大会開催時（詳しくは、別途連絡）

b その他報告事項